

1. 事業内容

事業名称	A. 在宅療養に関する相談支援
実施内容	在宅療養を支援する相談窓口として、市民からの相談に対応する。 また、医療・介護の多職種、いきいき支援センターからの在宅療養支援に関する相談に対応する。また、地域のニーズに応じて、出張相談を行う。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養者からの相談においては、必要に応じて、医療機関を始め、多職種間の連絡調整等を行い、療養者が安心・安全な在宅生活を送ることができるよう支援する。</li> <li>・医療・介護サービスを提供する多職種からの相談に対しては、その連携が円滑に進むよう調整し、支援体制づくりを行う。</li> </ul>

事業名称	B. 在宅療養への移行支援
実施内容	医療・介護関係者等からの依頼に基づき、多職種間の連携調整等を行い、在宅療養への移行を支援する。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養への移行に係る連携を行い、速やかな在宅移行を支援する。</li> <li>・かかりつけ医のコーディネーター役として、在宅療養への移行に係る連絡調整を行い、かかりつけ医による在宅医療の提供を支援する。</li> </ul>

事業名称	C. 医療・介護資源の把握
実施内容	<p>16 各区の医療資源調査を市内統一の調査方法にて実施する。</p> <p>対象は医療機関・訪問看護ステーションとして、在宅医療への取組状況、対応可能な医療、看取りの可否等を調査する。調査結果は、ホームページ上での公表等を行う。また、調査結果に応じて、訪問調査を行う。</p> <p>介護資源については、既に公開されている情報を活用する。</p>
ねらい	調査結果は、必要に応じて、市民または多職種への情報提供に活用する。

事業名称	D. 在宅医療・介護連携に関する会議の開催
実施内容	<p>医療と介護の連携推進を図るため、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者、いきいき支援センター、行政等の関係者を構成員とする会議を設置のうえ、「在宅医療・介護連携に関すること」等について現状把握と課題の抽出・対応策の検討を行う。</p> <p>また、必要に応じて、会議の下部組織として、職種別の委員会やワーキンググループ等を設置する。</p>
ねらい	<p>地域における医療・介護の連携に係る課題を抽出する。</p> <p>また、課題解決に向けた取組みの検討・実施を協議する。</p>
回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議：年 2 回程度</li> <li>・各種ワーキンググループ：必要に応じて</li> </ul>

事業名称	E. 在宅医療研修会の開催
内容	<p>かかりつけ医による在宅医療の推進を図るため、医師を対象として、在宅医療分野の知識の習得を始め、実地研修等、以下の内容を含む研修会を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. かかりつけ医による在宅医療の提供について 例) 在宅医療の実際について／診療報酬について</li> <li>2. 専門領域への対応について</li> <li>3. 多職種連携について</li> <li>4. 在宅療養あんしんサポートシステムについて</li> </ol>
ねらい	<p>かかりつけ医による在宅医療の提供を支援する。</p>
回数	<p>年 1 回</p>

事業名称	F. 多職種連携研修会の開催
実施内容	<p>在宅療養者を支える多職種が、本人の意思決定を支援し、共有することは不可欠であることから、在宅療養者の意思決定を支援するプロセスについて理解を深め、地域での多職種による支援体制づくりを推進するために、アドバンス・ケア・プランニング（以下、ACP）に関する研修会を市内統一の内容にて実施する。</p> <p>また、区内の在宅医療・介護の連携に係る課題への対応策として必要な研修会を実施する。</p> <p><b>1. ACP 研修会</b></p> <p><u>(1) 概論編</u></p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ACP に関する基礎的知識の習得</li> <li>② 多職種チームによる意思決定支援についての理解</li> <li>③ 各職種の実践に ACP が含まれていることの理解</li> </ul> <p>&lt;主催&gt;</p> <p>名古屋市医師会／各区医師会／各区はち丸在宅支援センター</p> <p>&lt;研修内容&gt;</p> <p>講義及びグループワーク</p> <p>&lt;講師&gt;</p> <p>あいち ACP プロジェクトにおける県／エリアリーダー</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>研修受講者には修了証を発行のうえ、受講者リストを HP 等で公開</p> <p><u>(2) フォローアップ編</u></p> <p><b>2. その他、多職種連携に関する研修会</b></p>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種による ACP への取組みを促進する。</li> <li>・地域で抽出された在宅医療・介護連携に係る課題の解決を進める。</li> </ul>
回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ACP 研修会（概論編）：年 1 回</li> <li>2. ACP 研修会（フォローアップ編）：必要に応じて年 1 回</li> <li>3. その他、多職種連携に関する研修会：必要に応じて実施</li> </ul>

事業名称	G. 在宅療養に関する普及啓発
<p>実施内容</p>	<p>市民を対象として、在宅療養に関する普及啓発を行う。                      なお、普及啓発は関係機関と連携のうえ、下記内容を小規模で開催する。                      例) 小学校区単位</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はち丸在宅支援センターの役割について（相談窓口の周知）</li> <li>2. 在宅療養について（かかりつけ医普及啓発を含む）</li> <li>3. ACP（意思決定支援）について</li> <li>4. 在宅療養を支える各職種の役割について</li> <li>5. 在宅療養をサポートする医師会の取組みについて</li> </ol>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が在宅療養を選択できるよう、在宅療養に関する知識を普及啓発するとともに、相談窓口であるはち丸在宅支援センターの役割等を周知する。</li> <li>・市民が人生の最終段階の医療について考え、話し合う機会を作る。</li> </ul>
<p>回数</p>	<p>必要に応じて実施</p>